



### 油谷地区の現状

総人口：5,631人  
(今年2月末現在)

前年度比 **-188人**

高齢化率**53%** (少子高齢化) ・過疎化



童謡詩人 金子みすゞのふるさと山口県長門市



地域と学校の連携・協働体制構築研修会  
(兼) 地域学校協働活動推進員等研修会  
R3/2/3 (広島県教育委員会)

# 公民館が **つなぐ** 地域学校協働活動

山口県長門市油谷中央公民館長  
(地域学校協働活動推進員) 中 村 典 生

学校と地域をつなぐコーディネータ協議会  
代表 森 田 和 康

# 事例発表の項立て

## 長門市油谷では

- 1 今なぜ公民館が地域学校協働活動の推進に関わるのか
- 2 地域学校協働活動としてどんな活動をしているのか
- 3 地域学校協働活動推進員として  
どんなことを考えながら取り組んでいるか
- 4 地域学校協働活動をどのように推進しているか

## 5 まとめ

各地域や学校の実践の現状から、どんなことから始めたらいいか。

# 1 今なぜ公民館が地域学校協働活動の推進に関わるのか

ながとに学び、未来に生きる  
地域と共にある小中一貫「長門みすゞ学園」  
学校教育課基本方針

アプローチ  
カリキュラム  
幼稚園  
保育園  
認定こども園

縦

からのアプローチ

前期 1～4年  
基礎期

中期 5～7年  
充実期

後期 8～9年  
発展期

高等学校等

知・徳・体の  
調和

みすゞ学園共通目標

9年間で育てる子ども像・共通の視点による学校評価

横  
からのアプローチ

みすゞ学園合同学校  
運営協議会

- 〇〇中学校運営協議会
- 〇〇小学校運営協議会
- 〇〇小学校運営協議会

家庭

公民館

〇〇地域協育ネット  
(公民館が事務局)

地域学校協働活動推進員  
地域コーディネーター

将来の長門の担い手

長門を離れても心の拠り所として生きる

ながとの「知と実践」の好循環の創出

# 背景

いま「公民館は生涯学習の拠点のみでなく地域づくりの拠点である」ことが求められている

## 1 油谷中央公民館のめざすもの

- ◇ 一人ひとりを支援しつつ、学習の成果は個人に還元するだけでなく地域や他の人に還元していくようにし、人と人を結び、暮らしや営みをつなぎ、住民同士が共に活かし活かしあう関係をつくり出せるよう誘なう館である。

**「ネットワーク型公民館づくり」**

## 2 公民館と学校の関係

- ◇ 学校は地域の中にあり、学校の課題は地域の課題。逆に地域の課題は学校の課題である。 **「学校は公民館の守備範囲」**

## 3 油谷地域協育ネットのめざすもの

- ～ 子どもは地域の中におり、子どもの課題は地域の課題ある。逆に地域の課題は、子どもの課題である。～
- ◇ 子どもを地域の真ん中に置いて、地域総がかりで子どもを育てる。そうして育った子どもは地域を創る。

**「知と実践が好循環する油谷のまちづくり」**

## 2 地域学校協働活動としてどんな活動をしているのか

10数年前、始まりは「学校支援」

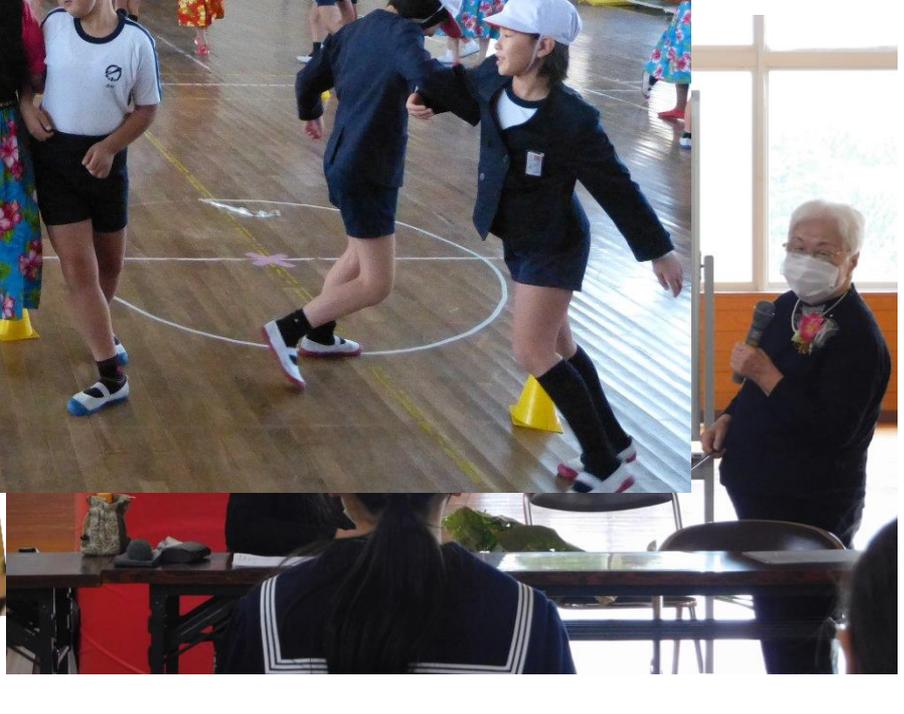
公民館活動団体が年1回は押しかけるように学校へ。児童生徒「ふれあい」一緒に給食を摂る活動

# 学校へ行こう

# おしかけ、ふれあい塾

地域総がかりで子どもを育てる







教師の力100% + 地域 の 力20% = 120% で子どもを育てる



NPO の



琴の先生と

油谷地域に  
広がる



農法人の皆さんと



福祉施設の皆さんと



町の有志さんと

油谷地域協育ネットへ

～山口県や長門市では地域協育ネットが今の「地域学校協働活動」の役割や機能を担う～

# さわやかあいさつ運動

各学期はじめ1週間、登校する  
児童生徒をあいさつで迎える



晴木

雪の日も

# 油谷地域協育ネットへの発展は

8年前頃から「支援」→「連携」へ

油谷地域住民

シニア世代(高齢者)

保護者・家庭

シニア世代も元気になる  
地域も活性化する

つなぐ、結ぶ



活かし活かしあう  
一緒に学ぶ・楽しむ

学校  
子どもたち

学校、先生も  
子どもも助かる  
元気で賢く優しいこ子





子ども支援は  
自分支援



# 4年前 学校改築



支援→連携→協働へ

学校を核とした地域づくりの展開へ



地域交流室

支援→連携→協働活動

学校を核とした地域づくり

# トライアングル事業

学校・社会福祉協議会・公民館  
が連携した地域学校協働活動



**学校**  
学校運営協議会・応援団  
**学校を核（舞台）にした地域づくり**



# WIN WINの関係

## 公民館

公民館運営協議会

ネットワーク型公民館  
づくり

つながり結び  
活かし活かし  
あう関係づくり

## ゆや地区社協

もやい むつむまち ゆや

健康寿命の延伸・認知症防止



# 子どもと学ぼう & カレーライスとサロンの日



子どもと学ぼう  
授業参観を一步前進  
させて



サロン会 今日手話を



楽しく会食  
油谷小レトルラン

子どもと学ぼう  
カレーライスと  
サロンの日

### 3 地域学校協働活動推進員として、どんなことを考えながら取り組んでいるか

**(1) 学校のオープン化から始める**

(学校のいい面から、課題 まで実際に見てもらうことから)

**(2) 地域住民と子どもの接点をできるだけ増やす**

(学校にコミュニティーをつくる)

**(3) 学校の現状を知ってもらい、共に子どもの育ちを支えていこうとする思いを少しでももってもらおう。**

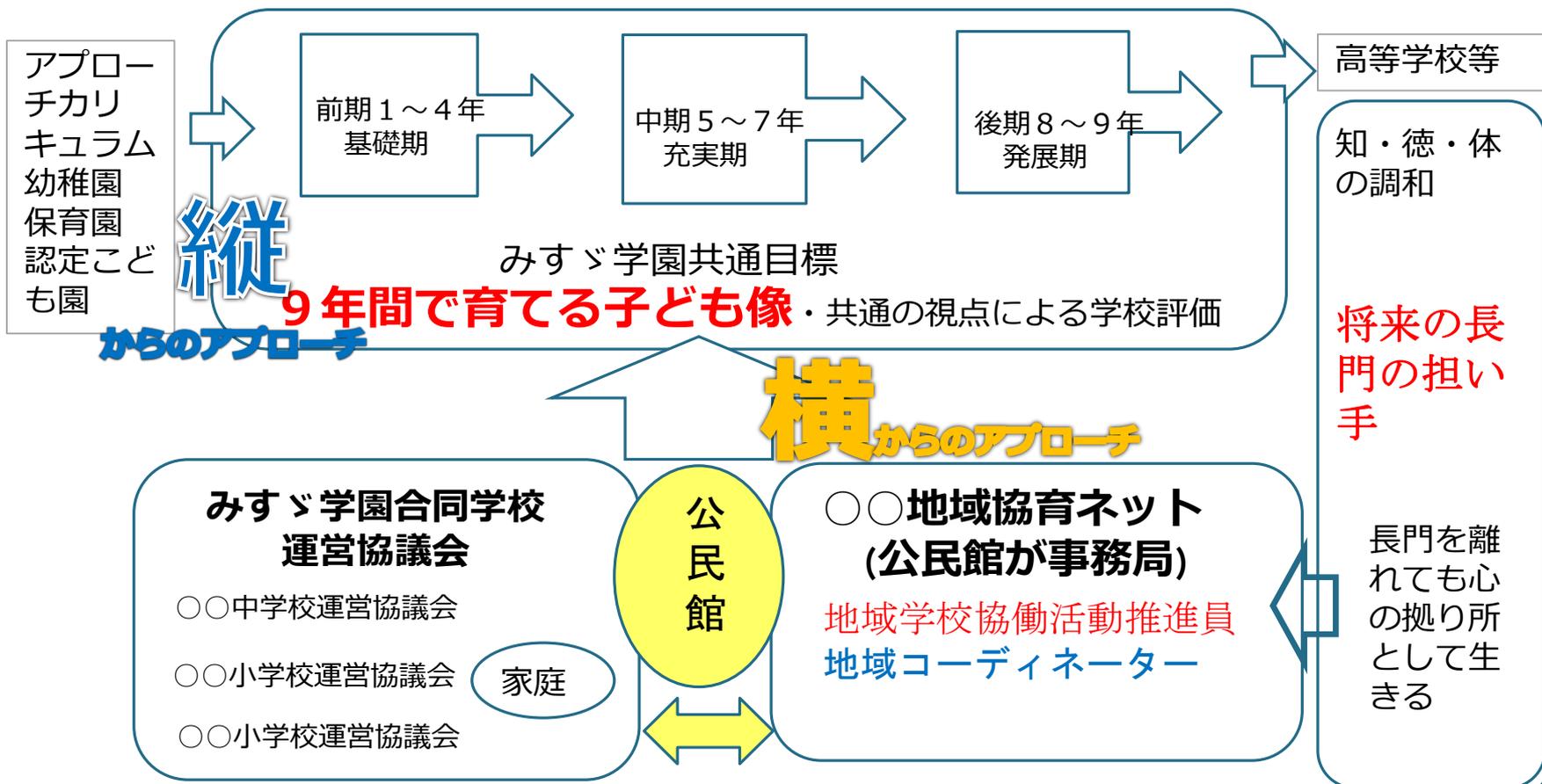
(学校の先生はたいへんだな、何か出来ることはないかな)

**(4) 地域住民（大人）の姿を見せることで、将来の自分の大人像を意識させる。**

**(5) 児童生徒との関わりが自分の楽しみ、生きがいに少しでもつながるようにする。**

## 4 地域学校協働活動をどのように推進しているか

ながとに学び、未来に生きる  
地域と共にある小中一貫「長門みすゞ学園」 学校教育課基本方針



# コミスクと協育ネットと協働活動推進員と

地域が共に学校運営等に**責任を持って支援や連携**協働する仕組み

## 学校運営協議会

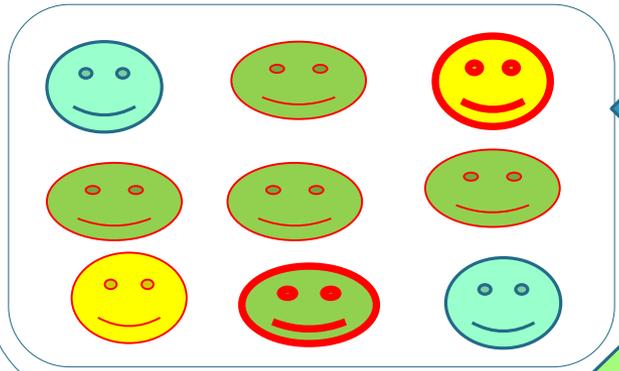
コミスク = 学校運営協議会の制度を取り入れた学校

## 学校



経営の基本方針  
学校教育目標

運営・教育活動の在り方など



## 学校運営協議会

委員

実践をしている人



地学協働活動推進員  
地域コーディネータ

過疎のまちと

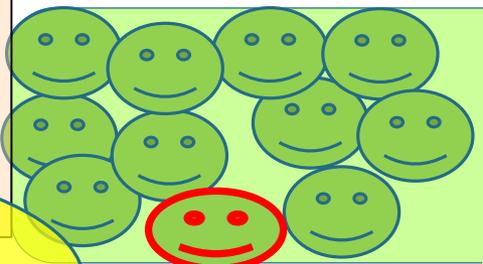
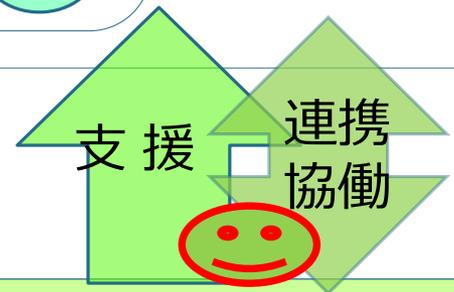
高齢化率 53%

説明  
連携協働  
等の促進



支援

連携  
協働



住民

## 油谷地域協育ネット

公民館・

地域学校協働活動推進員

地域コーディネータ



保護者

# 5 まとめ 各地域や学校の取組の現状から、 どんなことからなら始められそうか

## 1 0 数年間の変遷

### 学校支援 開かれた学校



おしかけふれいあ塾

### 支援→連携へ 地域と共にある学校



3年生と一緒に外国語

### →協働へ 学校を核にした地域 づくり



子どもと学ぼう&カレーと  
サロンの日

**行ってあげる → 一緒に楽しむ → パートナーと  
してWIN WIN**

学校支援  
開かれた学校

段階



住民

学校

「学校へ行ってあげる」の解消

「楽しい」「やりがい」  
があるから学校へ行くへ

対応

まずは楽しく行っ  
てもらえそうな人

公民館  
協働活動推進員  
コーディネータ

学校とのミスマッ  
チを防止

地域の得意を持つ人から多くの住民へ

支援→連 携 段階  
地域と共にある学校



住民

学校

活かし合う  
一緒に学ぶ・楽しむ

楽しさ・やりがい  
への意欲付け

公民館

協働活動推進員  
コーディネータ

安心感・子どもの  
笑顔から  
解説・意義  
づけ

# →協働段階

## 学校を核にした地域づくり



# 主

## 住民

場・機会を活用して

住民は楽しみながら

## 学校

→ パートナーとして  
WIN WIN

地域のよさの進展  
地域課題の解消  
子どもの将来のために

## 公民館

協働活動推進員  
コーディネータ

今、将来の子どもの  
ために



- 1, 生涯学習サークル（社会教育関係団体）等で「こんなに楽しいことは誰かにわかって欲しいナ」という人たちに働きかける。\*得意を生かす。
- 2, 得意に「出番と役割」を準備し、「生きがい感」に訴える
- 3, 物事が習慣化する仕組みの3要素に働きかける  
～住民には、最も大切な「感情的要因<楽しい>」。  
しかし、コーディネーターは「認知要因<知識>」と  
「行動～意気が人を動かし人また意気を呼ぶ」を十分に
- 4, 成果の「可視化（見える化）」を図る。
- 5, キャッチフレーズ も大事  
「教師の力100%+地域の手20% = 120%で子どもを育てる」  
「地域の真ん中に子どもを置いて地域総がかりで子どもを育てる」  
「I love 油谷まち」「もし…ならば・・・と思える地域にしよう」
- 6, 「やらねばならない」ではなく「楽しいからやる」へ誘う  
・自己肯定感（私ってなかなかやるわね）・金で釣らない
- 7, Never act Never in  
(働きかけないところに参加はない→不特定多数でなく「あなた」に働きかける)  
(働きかけは「人」だけでなく、事業や内容のバージョンアップ←コーディネーターの役割)
- 8, 「地域総がかり」と言っても簡単ではない（100人中4名と思おう）  
フェイス to フェイスで少人数から、人々を巻き込み輪を広げていこう。
- 9, それぞれの願いを縦や横につなげてみる(授業聴講&カレーとサロンの日)